



第18回CPC

両側副腎腫瘍による 副腎不全の1例

開催日：平成24年6月20日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科： 高齢医学科、糖尿病・内分泌内科、
臨床病理

司会： 福島 俊洋 先生（血液免疫内科）
上西 博章 先生（総合診療科）

ミニレクチャー：

「副腎不全の臨床像」

中川 淳 先生（糖尿病・内分泌内科）

症例： 70歳代 男性

臨床経過：悪心・嘔吐で食事摂取が不能となった。低Na血症、血清コルチゾール低下、CTで両側副腎腫瘍が発見され、副腎腫瘍による副腎不全と診断された。胃小弯に悪性リンパ腫と胃前庭部に腺癌が認められた。副腎不全と腫瘍浸潤が進行し、3か月後、永眠された。右図は剖検時の両副腎・腎肉眼像。



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は糖尿病・内分泌内科、中川 淳先生のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）